

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」(継続プログラム)

「国内学会・研究集会」参加報告書

2008年6月3日
専攻・講座名 情報科学専攻
学年 博士前期過程 1回生
氏名 衛藤 聡美

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラムの支援による国内学会の参加報告書を提出します。

記

1. 学会名称：日本地球惑星科学連合 2008 年大会
2. 開催場所：幕張メッセ国際会議場 (図1)
3. 開催日程：2008 年 5 月 25 日 ～ 2008 年 5 月 30 日



図1：学会開催場所(幕張メッセ国際会議場)入り口

4. 自分の発表について：

ポスタータイトル「衛星観測データによる水田から放出されるメタンについての解析」(図2)

コアタイム(担当者がポスターの近くに待機し、質問を受けたり説明したりする時間)は2時間半(16:00~18:30)と十分な時間があった。コアタイム中は多くの人に意見を頂くことができ、大変有意義な時間だった。

・メタンについての意見

大気中メタンの研究をされている東北大の方々に、この研究を發展させていく際に、どのような検証を行えば良いのか等の貴重な意見を頂いた。アジアの水田地域にはほとんど地上観測地点がないため、衛星観測データの検証に何を使用すればよいのか探していたが、「水田の種類ごとのメタンフラックスと衛星観測データとを比較してみたらどうか」という意見を頂いたため、データがそろい次第解析する

予定である。また、今後使用する予定のモデルシミュレーションのデータを、学会前に環境研より頂いていたが、その担当の方が来て下さり、データを扱うにあたって気になっていた点を直接質問することができた。

- ・ 水田についての意見

私は大気成分の研究をしているため、メタンの発生源である水田や農業についての知識が乏しく、またどのような資料があるかも十分には知らなかったが、今回水田の研究をされている農学部の方が来て下さり、アジアの水田に関する情報（灌漑率やフラックスなど）を教えて頂いた。特に降水量や地上観測のフラックスのデータベースがどこで公開されているかという情報は、すぐに自分の研究に反映できるので大変参考になった。また、実際にタイで水田を調査した際にどのようにメタンが出ているか、メタンが出ていたと思われる時期についてなどを、現地地で研究をされている方から聞くことができ、自分の研究と現場の状況の整合性を確かめることができた。

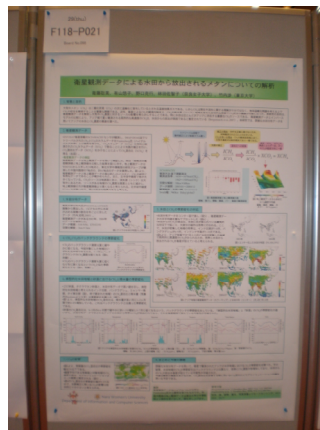


図2：発表したポスター

2、聴講したものについて：

- ・ ポスター発表

大気中メタンについての研究発表は、地上赤外分光観測によるメタンの高度分布の変動解析と、メタンの同位体比率を用いた濃度変動要因の推測があり、それぞれ研究内容を聞くことができた。まず、メタンの高度分布の変動解析では、私の研究では扱うことがなかった成層圏のメタンの季節変化の特徴やその原因について知ることができた。私の研究は対流圏メタンの季節変化についてであるため、今まで成層圏メタンを気にしたことがなかった。しかし、衛星観測の性質上成層圏メタンを完全に除外することはできないため、成層圏メタンの特徴を知るとは今後の研究の参考になると思う。メタンの同位体比率を用いた濃度変動要因についての研究についても、同じメタンの研究であるのに全く知らなかったことが多く、大変勉強になった。いずれの発表についても、メタンの研究者の方とお話することで自分のメタンに関する知識の浅さを痛感し、今後より多くの文献を読んでメタンについてもっと深く学ばなければならないと感じた。

- ・ 口頭発表

大気化学のセッションではメタンに関する研究の発表はなかった。しかし、他の大気成分（オゾン、エアロゾル等）の研究がどのように進んでいるかを知ることができた。

大気化学のセッションだけではなく、モンスーン気候のセッションでは東南アジア、南アジアの水田や降水についての研究発表があったため、そちにも研究内容を聞きにいった。このセッションでは、東

南アジアの気候についてと、現在どのような観測が行われているのか、また、今後東南アジアの気候研究がどのように発展していくかといった情報を得ることができた。加えて農林水産省委託プロジェクトのメコン川流域の水環境変動についての冊子を頂くことができた。この冊子には東南アジアの土地利用の変遷や、天水田、灌漑率の分布などの図が掲載されており、その基となる様々な参考文献も示されているため、今後アジアの水田についての知識を得る上で大変役に立つと考えられる。

以上が今回の学会で得た知識、情報、反省点である。また、大気中メタンの研究をしている東北大学の研究グループの方や、東京大学でアジアの水田について研究している先生、環境研究所でアジアの二酸化炭素とメタンのフラックスの研究をしている方の連絡先を教えて頂くことができた。

今後は今回得たものをもとにしてさらに研究を発展させていきたいと考えている。